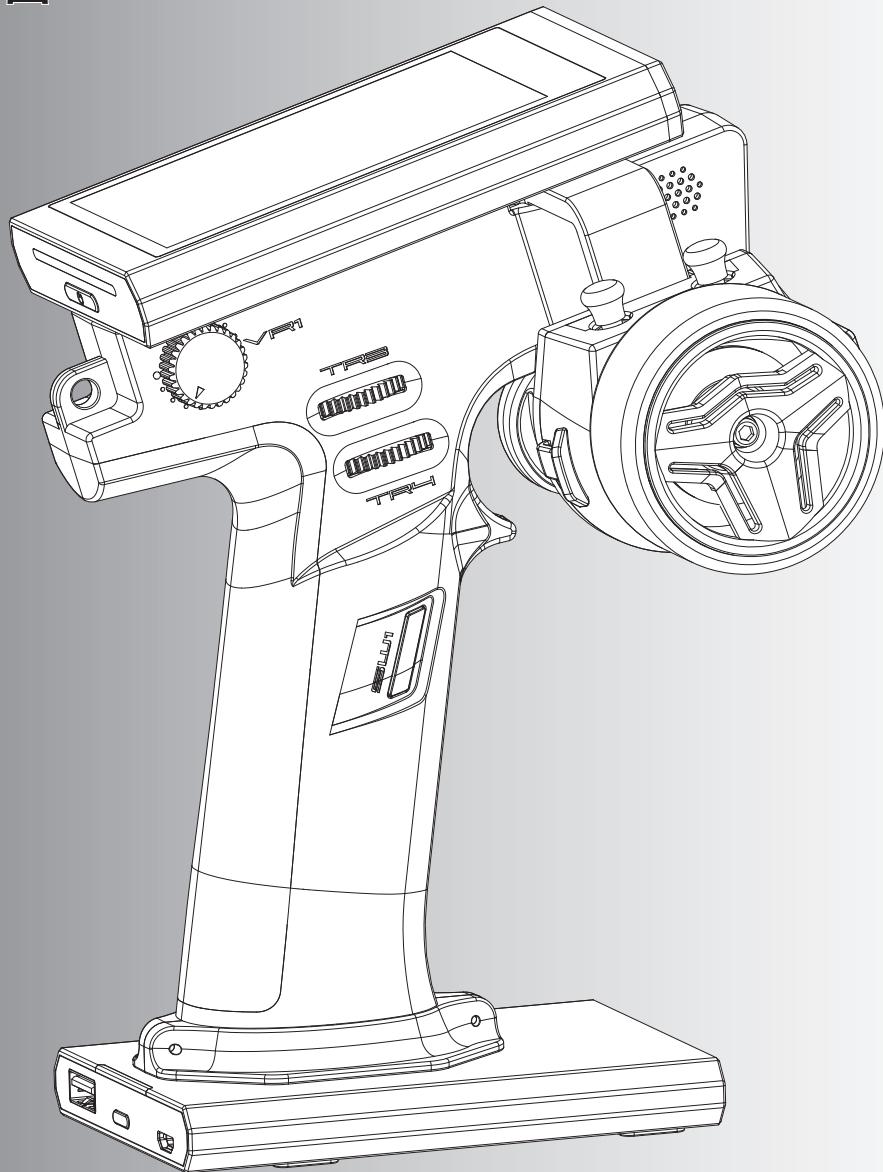


**FLY SKY**

**2.4GHz AFHDS 3**

# **Noble NB4**

取扱説明書



**kyosho**  
THE FINEST RADIO CONTROL MODELS®

---

## このたびは、FLYSKY NB4 Noble TX/RXをお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、FLYSKY NB4 Noble TX/RXを安全に正しくご使用いただくために、取り扱いに関する手順、要領および注意事項などについて説明しています。本機の性能を十分発揮させるために、ご使用になる前には本書を良くお読みになり、正しくお取り扱いいただくようお願い申し上げます。なお、本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。

### ●2.4GHzシステム使用上の注意

- 1:FLYSKY NB4 Noble TX/RXは2.4GHz帯周波数を使用し、混信防止機能を備えていますが、万が一の事を考えて周囲の安全を確保してください。
- 2:2.4GHzはR/C以外の機器にも使用されています。電子レンジ、無線LAN、Bluetooth、デジタルコードレス電話、ISMバンドなどに使用されているので都市部ではプロポの動作に影響が出る場合があります。使用する際は周囲の環境に注意し、必ず動作確認をおこない安全を確認してからお楽しみください。
- 3:同一場所での走行の際、同時に使用する2.4GHzプロポの台数を15台以内にしてください。
- 4:FLYSKY NB4 Noble TX/RXの電波到達距離は地上で約300mで設計されています。その範囲内で走行をお楽しみください。

### ●2.4GHz送信機操作上の注意

- 1:送信機のアンテナは指向性が高く電波が弱くなる方向があります。アンテナの先端が向いている方向が最も電波が弱くなりますのでアンテナを車体に向けないでください。
- 2:送信機のアンテナを持ったり金属クリップをつけないでください。

### ●2.4GHz受信機搭載時の注意

- 1:受信機のアンテナは切断したり半田付けで延長しないでください。

#### 海外での使用に関するご注意

1. 模型用以外に使用しないでください。  
本説明書に記載されている製品は、日本国内の電波法で、用途が模型用に限定されております。
2. 海外で使用する際のご注意  
本製品を海外で使用する場合、使用する国の電波法で認可されていないと使用することはできません。

#### 改造、調整、部品交換した場合のご注意

本製品を弊社以外で改造、調整、部品交換などの手が加えられた場合、一切の責任を負いかねます。

以下の文書は、京商の公式Webサイト、

<http://www.kyosho.com/jpn/support/instructionmanual/flysky/index.html>  
からダウンロードできます。

1. Noble取扱説明書
  2. Nobleクイックスタートガイド
- はじめにNobleクイックスタートガイドとNoble取扱説明書をお読みください。

#### Noble NB4付属物

- ・送信機
- ・受信機（通常版）
- ・受信機（小型版）
- ・バインディングコネクター
- ・アンテナ用パイプ
- ・グリップ（L）
- ・充電用USBケーブル

# 目次

1. 安全について	4	6.17 ミックス	19
1.1 安全表記	4	6.18 サーボの表示	20
1.2 安全ガイド	4	6.19 レースタイマー	20
2. はじめに	5	6.20 ボタンの割り当て	20
2.1 システムの特徴	5	6.21 モデルメモリー	21
2.2 送信機の概要	6	6.22 センサー	21
2.3 受信機の概要	9	7. 受信機の設定	22
2.3.1 ステータスインジケーター	9	7.1 受信機のバインディング方法	22
3. 入門	10	7.2 フェイルセーフ	22
3.1 送信機用バッテリーの装着方法	10	7.3 レンジテスト	22
4. 操作説明	11	7.4 アウトプットモード	22
4.1 電源の入れ方	11	7.5 i-Bus設定	22
4.2 バインディングの仕方	11	7.6 受信機バッテリーモニター	22
4.3 送信機LEDのインジケーター	11	7.7 低信号時のアラーム設定	22
4.4 電源の切り方	11	7.8 サーボ周波数設定	22
5. 画面表示について	12	7.9 受信機のアップデート	22
5.1 メインメニューへ移動する手順について	13	8. システム	23
6. 機能設定について	13	8.1 画面表示の時間設定	23
6.1 リバース	13	8.2 画面の明るさ調整	23
6.2 エンドポイント	13	8.3 音量設定	23
6.3 サブトリム	14	8.4 バイブレーション設定	23
6.4 ステアリングレート(D/R)とエクスボネンシャル	14	8.5 LEDライトの色変更	24
6.5 ステアリングスピード	14	8.6 言語	24
6.6 ステアリングミックス	14	8.7 オートパワーオフ機能	24
6.7 スロットルニュートラル	15	8.8 無線周波数の設定	24
6.8 スロットルD/Rとエクスボネンシャル	15	8.9 キャリブレーション	24
6.9 スロットルカーブ	15	8.10 ファームウェアアップデート	25
6.10 ABS	16	8.11 ファクトリーリセット	25
6.11 スロットルスピード	17	8.12 ファームウェアのバージョン確認	25
6.12 中間スロットル	17	9. 製品仕様	26
6.13 スロットルアイドルアップ	18	9.1 送信機(NB4)	26
6.14 エンジンカット	18	9.2 受信機(FGr4)	26
6.15 ボートモード	19	9.3 受信機(FGr4S)	26
6.16 ブレーキミキシング	19		

# 1. 安全について

## 1.1 安全表記

次のシンボルマークを持つ意味を十分に理解し、その内容に従ってください。これらの警告に従わないと、破損、けが、または死亡の原因となる可能性があります。



**危険** これらの指示に従わなかった場合、死亡事故又は重傷を負う可能性があります。



**警告** これらの指示に従わなかった場合、重傷を負う可能性があります。



**注意** これらの指示に従わなかった場合、軽傷を負う可能性があります。



**禁止**



**強制**

## 1.2 安全ガイド



夜間や雨、雷雨のような悪天候の時は使用しないでください。誤動作や制御不能の原因となります。  
視界の悪い環境で、本製品を使用しないでください。

雨や雪の日に本製品を使用しないでください。湿気（水や雪）にさらされると、動作が不安定になったり、  
制御不能になることがあります。

電波干渉によって制御不能になることがあります。ご自身や周囲の人々の安全を確保するために、次の場所で  
操作しないでください。

\*他の無線通信の可能性がある場所の近く

\*電線または放送通信アンテナ付近

\*人や道路の近く

\*客船運航の水域

疲れていったり、気分が優れない状態や、またはアルコールや薬物の影響下でこの製品を使用しないでください。  
ご自身や他の人々に重大な傷害を与える可能性があります。

2.4GHz無線帯域は見通し可能な範囲に制限されています。大きな物体がRF信号を遮って制御不能になる可能性が  
あるため、常にモデルが視界に入るようにしてください。

操作中に送信機のアンテナを絶対に握らないでください。信号品質や強度が著しく低下し、制御が失われる可能性  
があります。

操作中、または使用直後に発熱する部分には触れないでください。エンジン、モーター、スピードコントローラーは  
非常に熱くなり、重度の火傷を負う可能性があります。



この製品を誤って使用すると、重傷を負ったり死亡する恐れがあります。ご自身と装置の安全を確保するために、  
このマニュアルを読み、指示に従ってください。

製品がモデルに正しく取り付けてあることを確認してください。そうしないと、重傷を負う可能性があります。  
送信機の電源を切る前に、必ず受信機のバッテリーを外してください。そうしないと、誤動作により事故の  
原因となることがあります。

すべてのモーターが正しい方向に動作していることを確認してください。そうでない場合は、最初に方向を  
調整してください。

モデルが一定の距離内で飛行することを確認してください。そうでないと、制御不能の原因になります。

## 2. はじめに

この製品は2.4GHzの第3世代AFHDS 3プロトコルを使用しています。NB4とFGr4は、モデルカー、ボート、その他のモデルに適した4チャンネルシステムを構成しています。

### 2.1 システムの特徴

AFHDS3（第3世代自動周波数ホッピングデジタルシステム）は、新しく開発されたデジタルワイヤレスシステムです。シングルアンテナで双方向リアルタイムデータパケット送信およびデータストリーム送信と互換性があります。

WS2Aワイヤレスシステムと新しい2.4GHzチップの利点を活かして、システムが動的にチャネル数、チャネル分解能、範囲、干渉防止要件、及びあらゆるユーザーのニーズに合ったレイテンシーを設定することができます。

---

#### シングルアンテナ双方向リアルタイムデータ送信

受信機は送信機からデータを受信できます、送信機は受信機からデータを受信できます。温度や速度などのセンサーからのデータが含まれ、i-BUSをサポートします。これによりRCカーを細かに操縦し、その現在の状態に関する一定の情報を得ることができます。

---

#### 未修正のデータ送信

独立した未補正データ送信モジュールがRFシステムに組み込まれています。  
それは走行制御データを含む多くの異なる種類のデータを送ることができます。

---

#### インテリジェントRF構成

ハードウェア、認証、送信するデータ量、干渉防止、レイテンシー、距離の要件に応じて、システムは対応するRF構成を動的に適応させてユーザーの要件に合わせます。

---

#### マルチチャンネル周波数ホッピング

このシステム帯域幅は2.408GHzから2.475GHzの範囲です。この帯域は140チャンネルに分割されています。  
各送信機は、他の送信機からの干渉を減らすために、16チャネル（日本と韓国のバージョンでは32）の間でホップします。

---

#### 固有ID認証システム

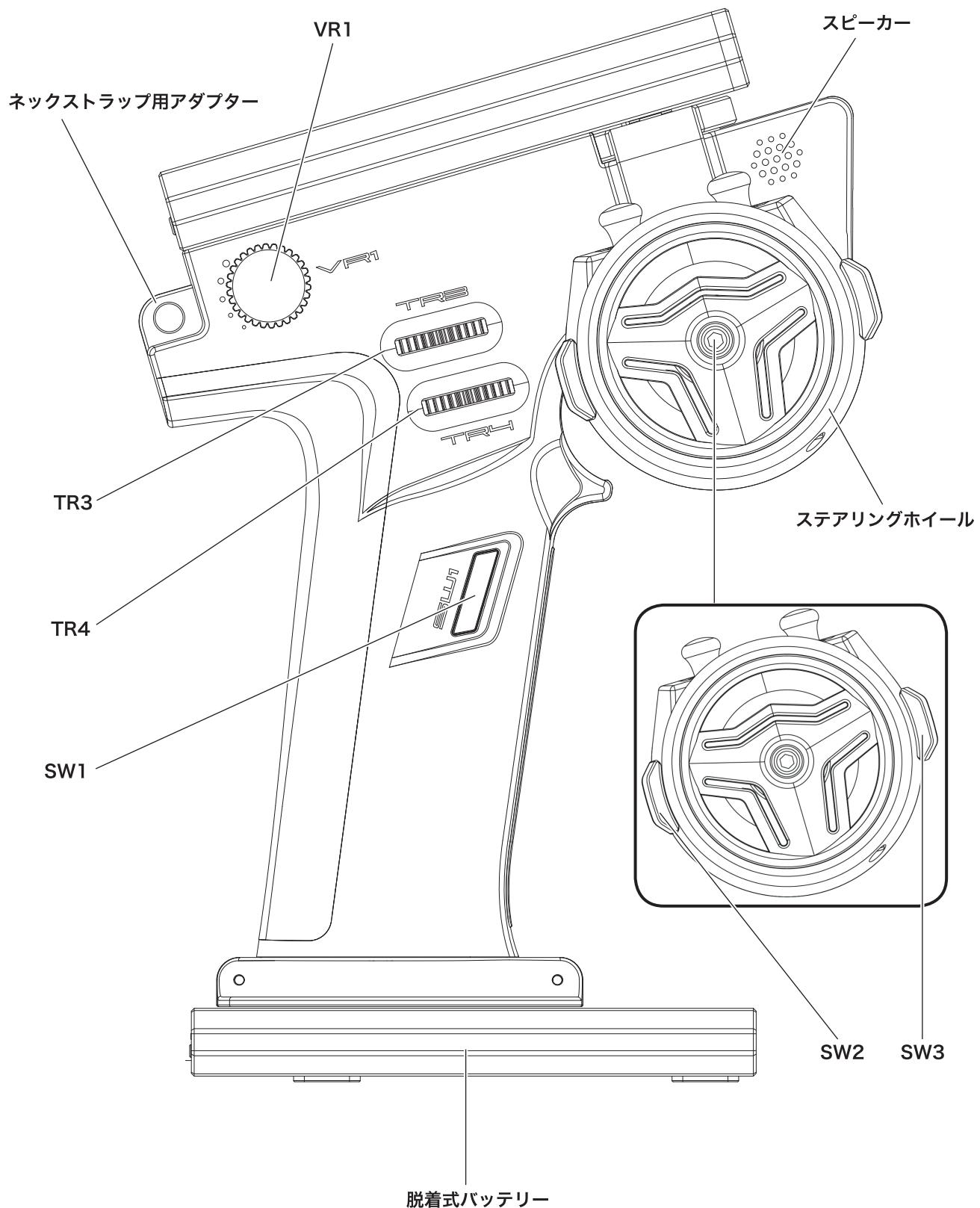
各送信機および受信機は固有のIDを持っています。送信機と受信機がペイントインディングすると、他のシステムが過って接続してきたり干渉してくる事を防止します。

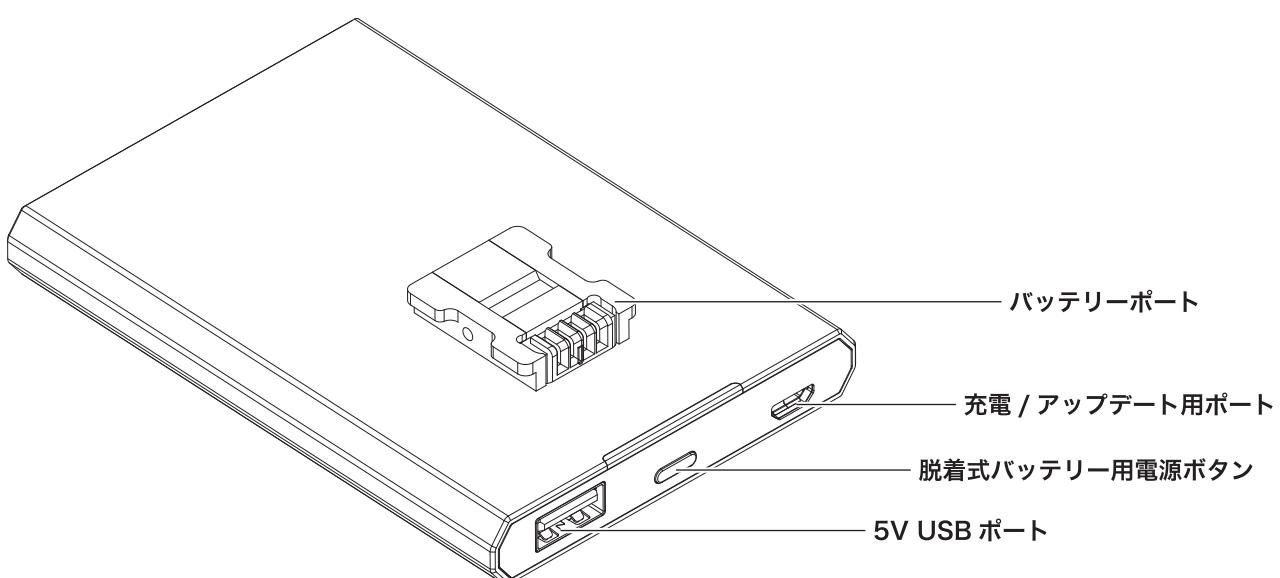
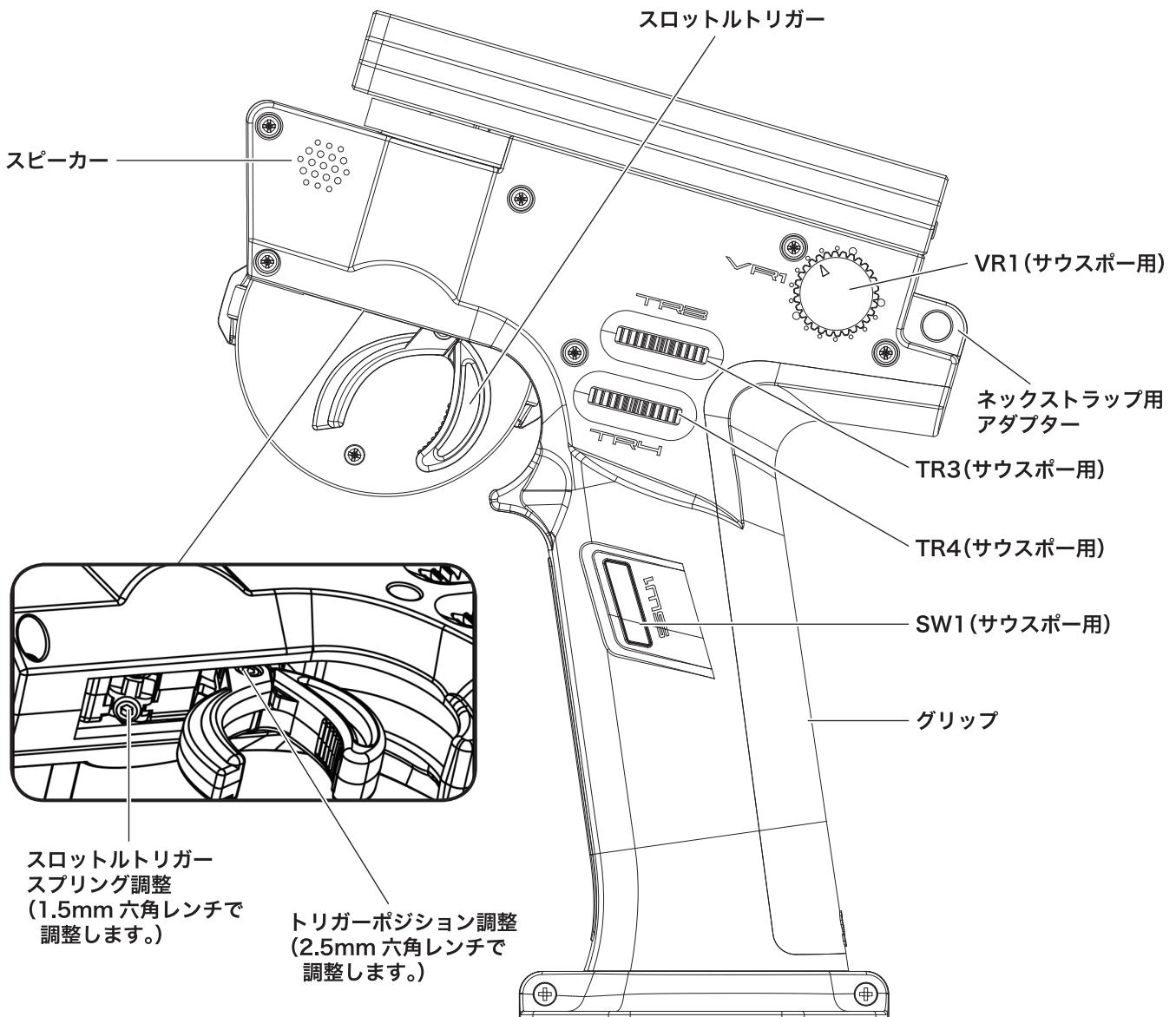
---

#### 低消費電力

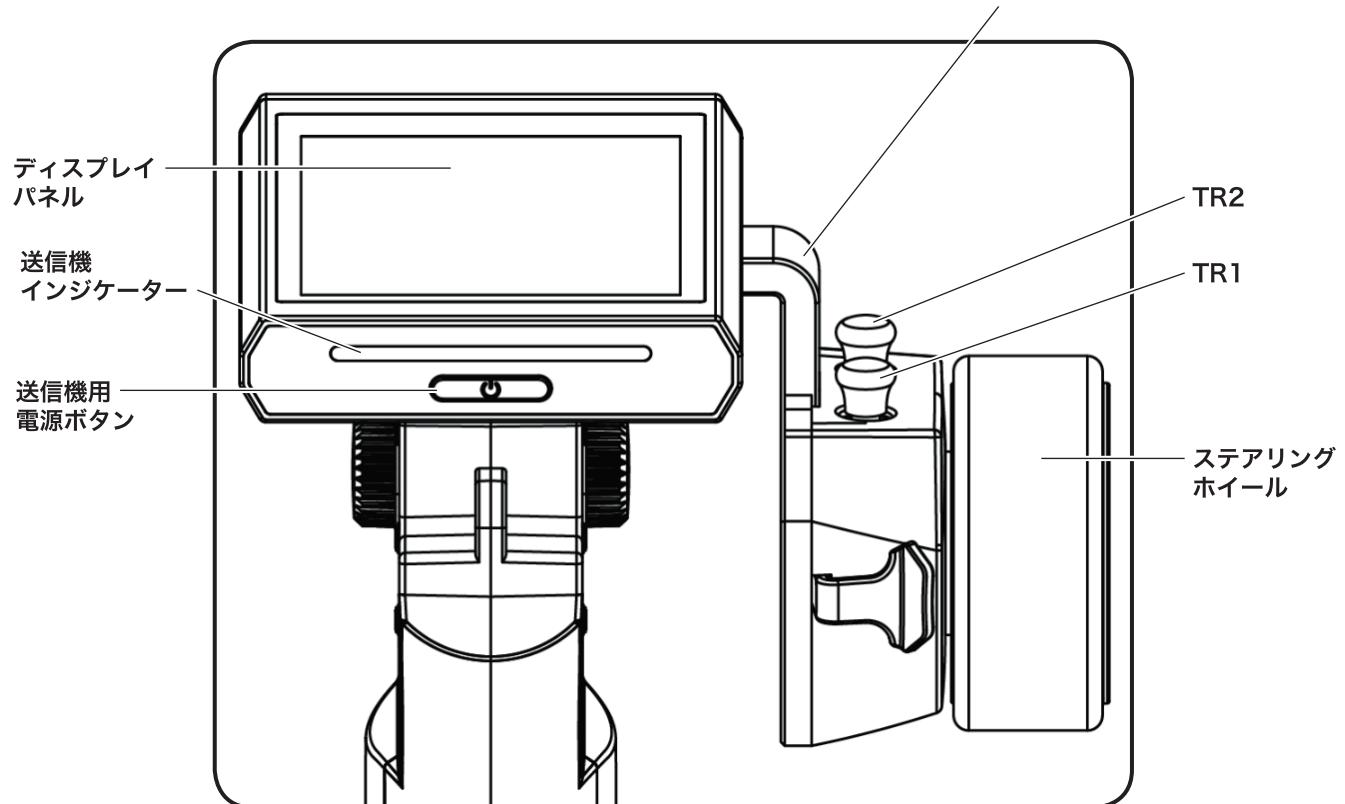
システムは、非常に敏感な低消費電力コンポーネントを使用して構成されており、標準のFMシステムの10分の1の電力消費で、高い受信感度を維持し、バッテリーの寿命を劇的に延ばします。

## 2.2 送信機の概要



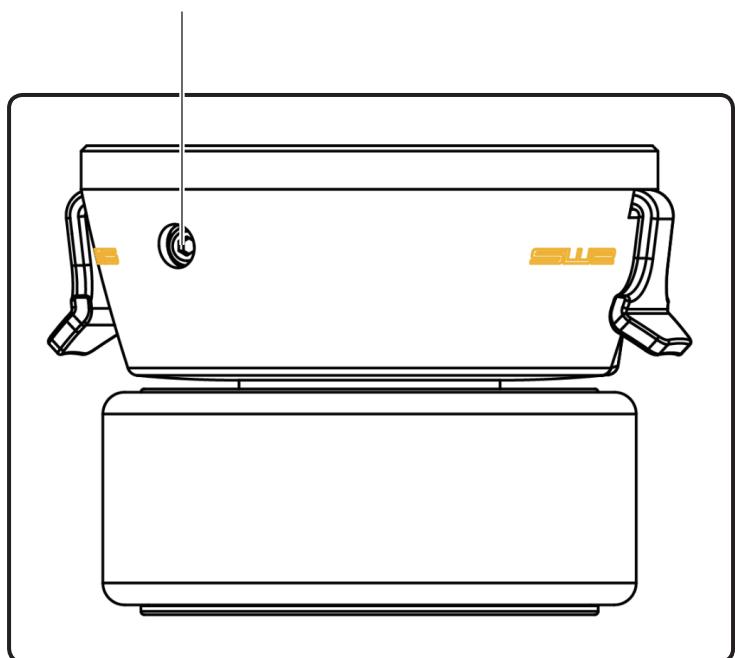
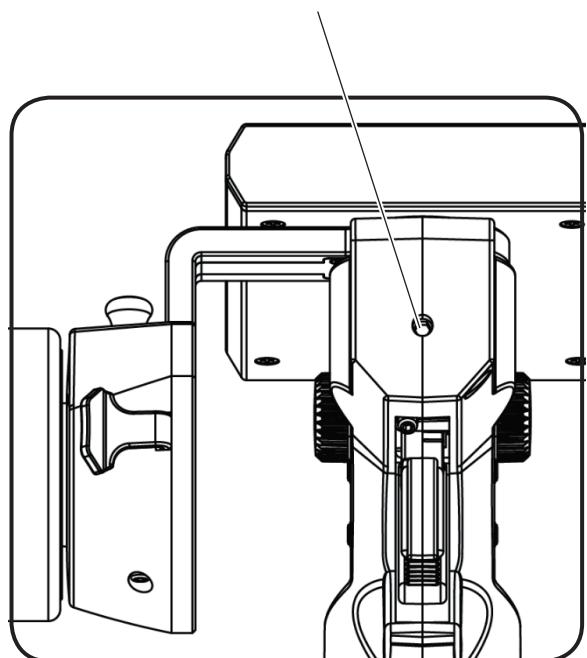


調節可能アーム  
(左手でステアリング操作をするために  
向きを変更することができます。)



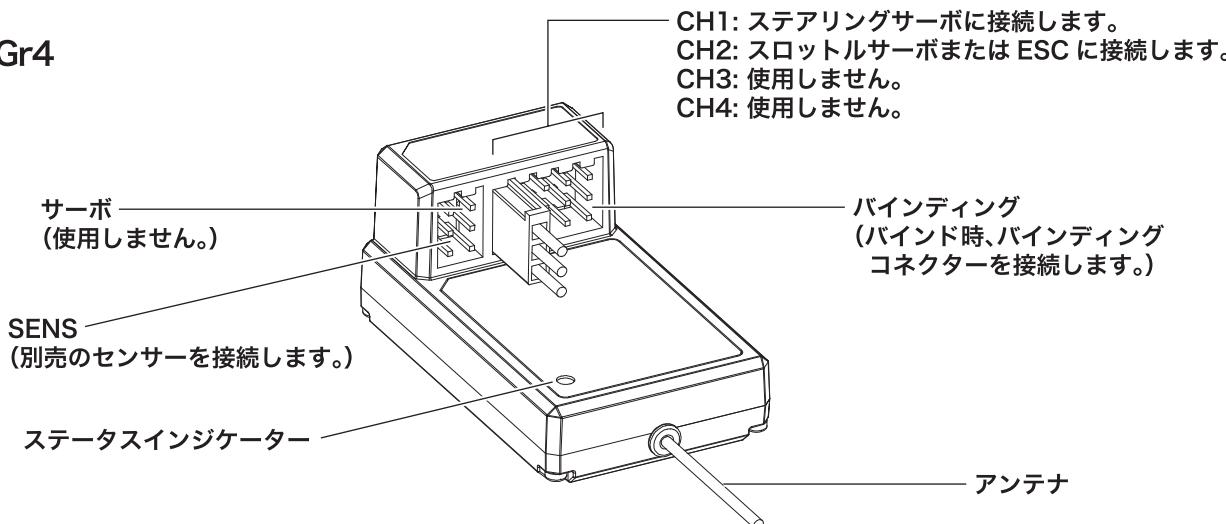
スロットルトリガーポジション調整ネジ  
(2.5mm 六角レンチで調整します。)

ホイールテンション調整ネジ  
(1.5mm 六角レンチで調整します。)

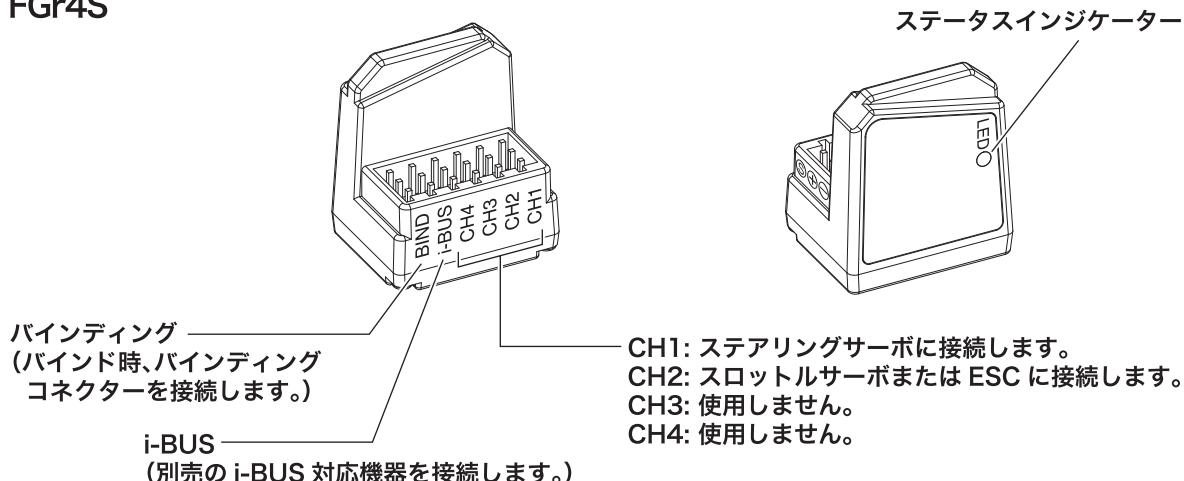


## 2.3 受信機の概要

FGr4



FGr4S



### 2.3.1 ステータスインジケーター

ステータスインジケーターは、受信機の電源および動作のステータスを示すために使用されます。

- \*消灯 : 電源が接続されていません。
- \*赤色に点灯 : 受信機の電源が入っていて機能しています。
- \*すばやく点滅 : 受信機がバイディングしています。
- \*ゆっくり点滅 : 送信機の電源が切れているか、シグナルが途絶えています

### 3. 入門

操作の前に、脱着式バッテリーを取り付け、以下の指示に従ってシステムを接続してください。

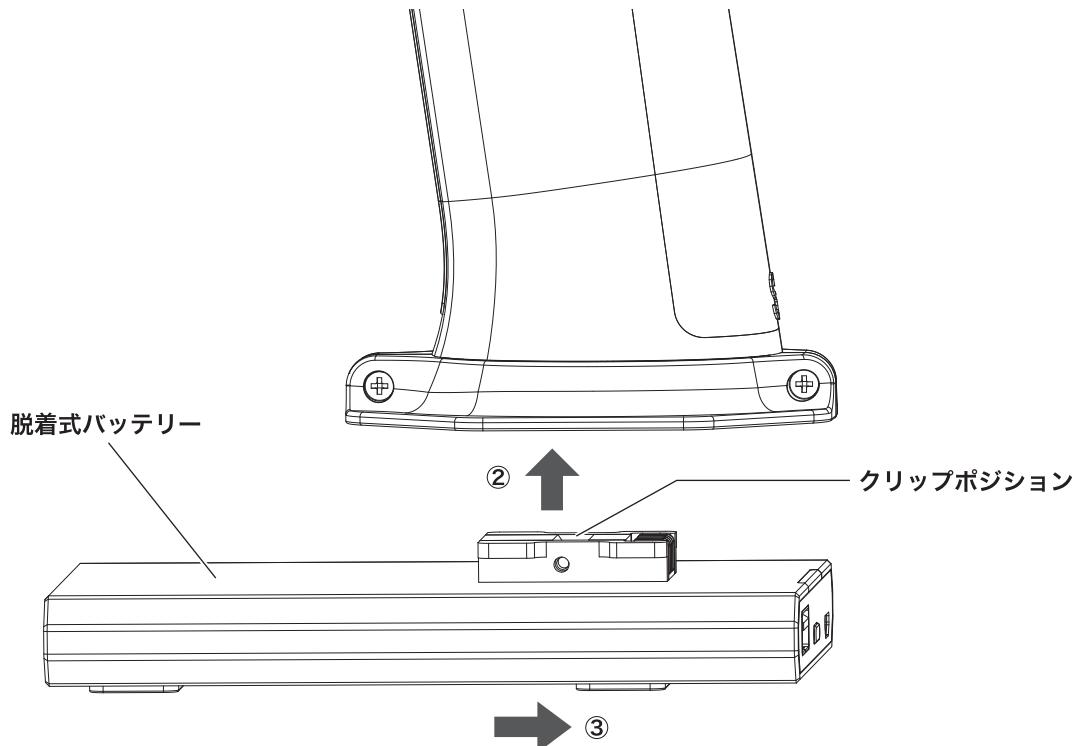
#### 3.1 送信機用バッテリーの装着方法

	<b>危険</b> 付属のバッテリーのみを使用する。
	<b>危険</b> バッテリーを開けたり、分解したり、修理しようとしてください。
	<b>危険</b> バッテリーをつぶしたり穴を開けたり、外部端子をショートさせないでください。
	<b>危険</b> 過度の熱や液体にさらさないでください。
	<b>危険</b> バッテリーを落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。
	<b>危険</b> バッテリーは常に涼しく乾燥した場所に保管してください。
	<b>危険</b> 損傷している場合は、バッテリーを使用しないでください。

NB4には2つのバッテリーがあります。1つはグリップ部分に、もう1つは取り外し可能な脱着式バッテリーにあります。

脱着式バッテリーを取り付けるには：

1. 送信機のグリップ部分が脱着式バッテリーの後端の少し内側にくるように、グリップ部分を脱着式バッテリーに合わせます。
2. クリップポジションをグリップ下部の穴に慎重に挿入します。
3. グリップをしっかりと持ち、脱着式バッテリーを後ろに引きます。固定するとカチッという音がします。



## 4. 操作説明

セットアップ後、以下の指示に従ってシステムを操作してください。

### 4.1 電源の入れ方

下記の手順に従って送信機の電源を入れます。

1. 以下の事を確認する
  - \*バッテリーはフル充電され、正しく取り付けられている。
  - \*受信機が正しく取り付けてあり、電源が切れている。
2. 画面が表示されるまで送信機の電源ボタンを押し続ける。
3. 受信機の電源をオンにする。



**注意** 損傷や怪我を避けるために注意して操作してください。

### 4.2 バインディングの仕方

送信機と受信機は出荷時に事前にバインディングしてあります。

別の送信機または受信機を使用している場合は、次の手順に従って送信機と受信機をバインディングします。

1. バインドケーブルを受信機のBiNDポートに接続します。
2. 他のポートに電源を接続します。
3. 受信機のRXセットアップメニューで"Bind With A Receiver"を選択します。
4. バインドが完了すると、送信機はバインドモードを終了します。受信機から電源ケーブルとバインドケーブルを抜いてから、BiNDポートに電源を入れます。
5. すべて正常に動作することを確認してください。そうでない場合は、上記の手順を繰り返します。

### 4.3 送信機LEDのインジケーター

このLEDは、緑、青、シアン、赤、黄、白、オフの6色があり、ユーザー好みに応じて設定できます。

LEDの色を変更するには、このユーザーマニュアルのLEDストリップのセクションを参照してください。

### 4.4 電源の切り方

下記の手順に従ってシステムの電源を切ってください。

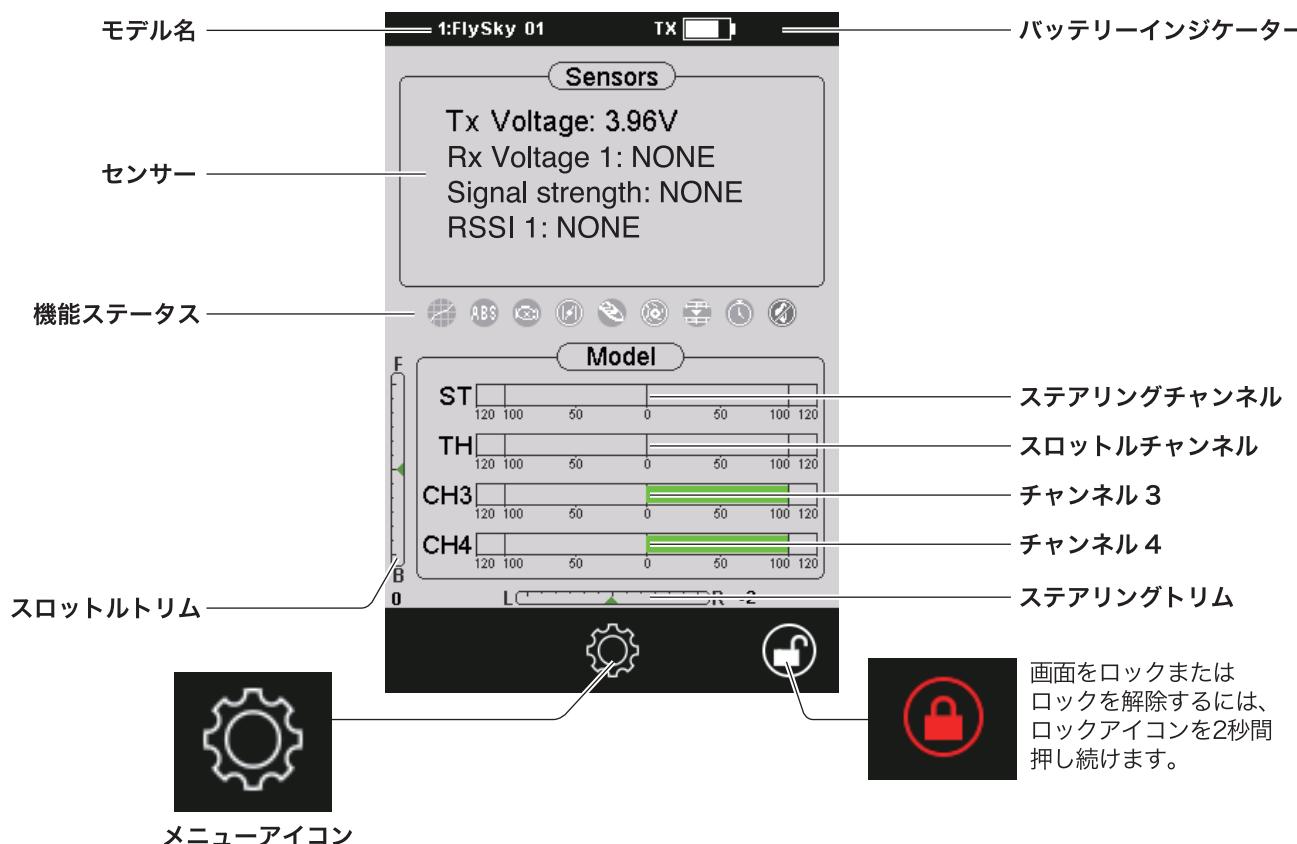
1. 受信機の電源を切ります。
2. 画面が消えるまで送信機の電源ボタンを押し続けます。



**危険** 送信機の電源を切る前に、必ず受信機の電源を切ってください。  
これを怠ると、損傷や重大な人身事故につながる可能性があります。

## 5. 画面表示について

メインスクリーンは、送信機電圧情報、機能ステータスなどのモデルに関連する情報を表示します。



### 機能ステータスバー

機能ステータスバーには、さまざまな機能のステータスが表示されます。マークが黒色の場合はアクティブになり、グレー色の場合は非アクティブになります。



機能が動作していません。  
機能を有効にするには、  
このアイコンをタッチするか  
スイッチを割り当ててください。



機能が動作しています。  
無効にするにはこのアイコンを  
タッチするか、スイッチを割り  
当ててください。

## 5.1 メインメニューへ移動する手順について

メインスクリーン一番下にある設定アイコン  にタッチする事でメインメニューにアクセスできます。メインメニューは各平面のページに整理されております。各ページには最大12個のアイコンが表示され、それらは12種類の異なった機能を持っております。画面下に表示されている白い丸印はどのメニューへページを表示しているのかを示します。次のページを表示する場合、現在表示しているページ画面の右側のどの部分でも構わないのでタッチしながら左方向へスライド(フリック)します。一つ前のページを表示したい場合は、現在開いているページ画面の左側のどの部分でも構わないのでタッチしながら右方向へスライドします。機能設定する場合は、表示されているアイコンの一つをタッチして行ないます。メインスクリーンに戻る場合は、画面右下の戻るボタン  をタッチします。



## 6. 機能設定について

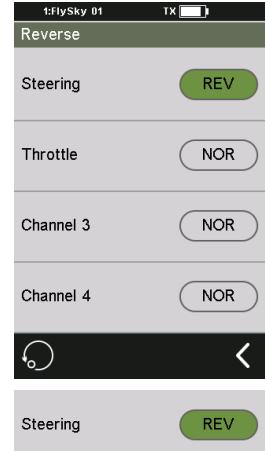
このセクションでは、機能とその使用方法について詳しく説明します。

### 6.1 リバース

リバース機能は、システムコントロールに対してサーボまたはモーターの方向を反対にするために使用されます。例えば、モデルの内側に収まるようにステアリングサーボが上下逆に取り付けられている場合、システムのステアリングホイールを回すと、サーボは反対方向に動きます。これを直すには、CH1を逆にするだけです。

用途：

1. チャンネル名の横にあるボックスをタッチします。チャンネルがノーマルモードの場合、ボックスには "NOR" と表示され、反転している場合は "REV" と表示されます。
2. 走行させる前に必ず動作確認をしてください。

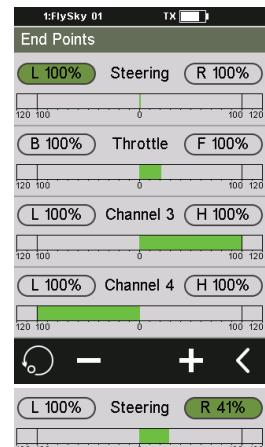


### 6.2 エンドポイント

エンドポイントは各チャネルのサーボの動作量を設定します。ステアリングホイールを操作した時のステアリングサーボの動作量の調整、スロットルサーボのハイ側とブレーキ側の動作量の調整が可能です。

セットアップ：

1. チャンネルの変更したいボックスをタッチするか、制限したい方向にステアリングまたはスロットル操作をします。選択したエンドポイントは緑色でハイライトされます。
2. エンドポイント位置を変更するには、+キーと - キーを使用します。最大値は120%、最小値は0%です。
3. 走行させる前に必ず動作確認をしてください。



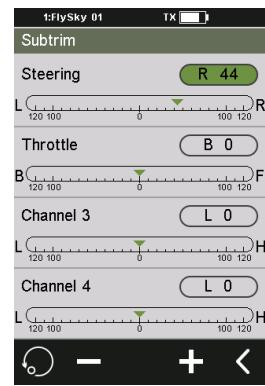
## 6.3 サブトリム



サブトリムは各チャンネルの中心点を変更するために使用されます。例えば、車のホイールが少しずれている場合は、送信機のホイールに触れていないでも、サブトリムを使って調整できます。

セットアップ：

1. チャンネル名の横にあるボックスをタッチして選択します。選択すると、ボックスは緑色でハイライトされます。
2. サブトリム位置を変更するには、+キーと-キーを使用します。
3. 走行させる前に必ず動作確認をしてください。



## 6.4 ステアリングレート (D/R) とエクスponenシャル

この機能はステアリングチャンネルの動作量の調整とレスポンスカーブを変更します。  
メインパラメータは2つあります。

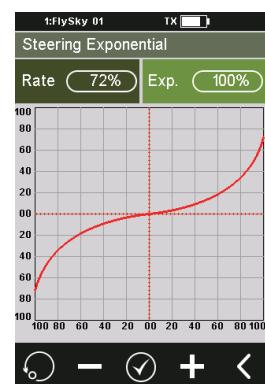
\*Rate (D/R) : ステアリングの動作量の調整を変更します。デフォルト値と最大値は100%です。

\*Exp. (エクスponenシャル) : ステアリングカーブを変更し、ステアリングホイールのレスポンスを変更します。Exp.の設定はポジティブまたはネガティブにすることができます。

レートとエクスponenシャルの変更は、画面中央にあるグラフで確認できます。  
チャンネルの現在位置をリアルタイムに読み出しを行います。

セットアップ：

1. レート又はEXPをタッチする。
2. +と-のアイコンを使って割合を増減します。
3. 他の設定についても繰り返します。
4. 走行させる前に必ず動作確認してください。



## 6.5 ステアリングスピード



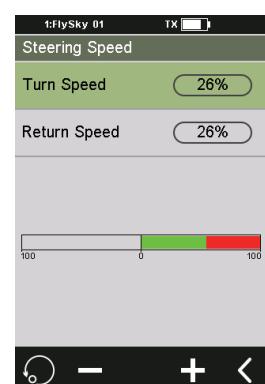
ステアリングスピードは、ステアリングサーボの動作速度を変更します。  
この機能は、スケールモデルの実際的なステアリングホイール回転速度をシミュレートするためにも使用されます。

Turn Speed : ステアリングをきるときのスピードを遅らせます。

Return Speed : ステアリングが戻るときのスピードを遅らせます。

セットアップ：

1. "Turn Speed" 又は "Return Speed"を選択してタッチする。  
選択するとボックスが緑色に変わります。
2. +と-のアイコンを使って割合を増減します。
3. 他の設定で必要に応じて調整します。
4. 走行させる前に必ず動作確認してください。



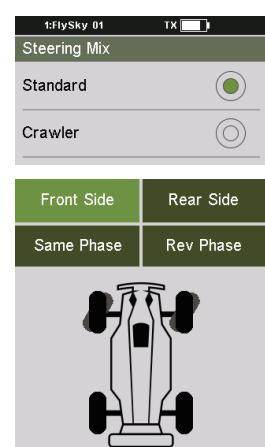
## 6.6 ステアリングミックス



この機能はどの車輪がステアリングを制御するかを設定します。フロント、リア、または4輪ステアリングへの影響を変更します。デフォルト設定は前輪ステアリングです。

ステアリングモードを変更するには、"Crawler"を選択してから、希望するステアリングタイプを選択します。

注意：crawler modeでは、CH3を個別に制御することはできません。



## 6.7 スロットルニュートラル



スロットルニュートラルは、スロットルチャンネルに設定可能な不感帯を作成します。

Forward : 不感帯がスロットルゾーンまでどのくらいか。

Dead Zone ; トリガーが不感帯を超えたときにチャンネルが入るポイント。

Backward: 不感帯がブレーキゾーンまでどのくらいか。

セットアップ :

1. "Forward"又は "Dead Zone"又は"Backward"を選択してタッチする。
2. +と - のアイコンを使って割合を増減します。
3. 他の設定で必要に応じて調整します。
4. 走行させる前に必ず動作確認をしてください。



## 6.8 スロットルD/Rとエクスボネンシャル



この機能はスロットルチャンネルの範囲とレスポンスカーブを変更します。メインパラメータは2つあります。

\*Rate (D/R) : スロットルの範囲を変更します。デフォルト値と最大値は100%です。

\*Exp. (エクスボネンシャル) : スロットルカーブを変更し、スロットルのレスポンスを変更します。

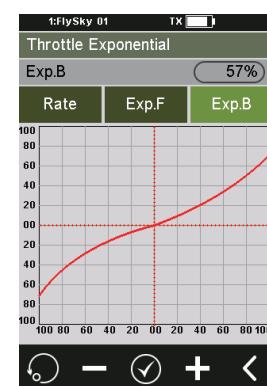
Expの設定はポジティブまたはネガティブにすることができます。

レートとエクスボネンシャルの変更は、画面中央にあるグラフで確認できます。

チャンネルの現在位置をリアルタイムに読み出しを行います。

セットアップ :

1. レート又はEXPをタッチする。
2. +と - のアイコンを使って割合を増減します。
3. 他の設定で必要に応じて調整します。
4. 走行させる前に必ず動作確認をしてください。



## 6.9 スロットルカーブ



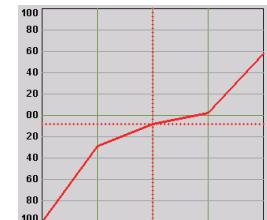
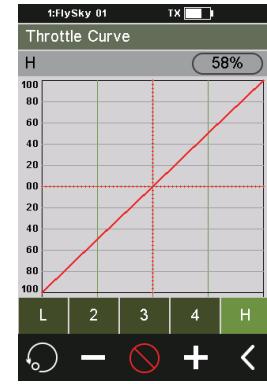
この機能は、スロットルレスポンスカーブの形状を変更します。メインパラメータは2つあります。

5つの編集可能なポイント、L、1、2、3、4、およびHがあります。

ラインが編集されると、スロットルはグラフのX軸上を新しいカーブ値に従います。

セットアップ :

1.  アイコンをタッチして機能を有効にします。有効になると、アイコンが  を変更します。
2. ポイントをタッチしてください。
3. +と - のアイコンを使って割合を増減します。
4. 他の設定で必要に応じて調整します。
5. 走行させる前に必ず動作確認をしてください。



## 6.10 ABS



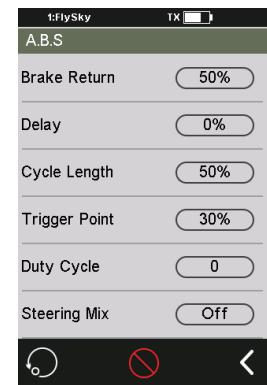
A.B.S. とはアンチロックブレーキシステムの略です。この機能は、制御不能や横滑りを招く可能性がある車輪のロックを止めるために使用されます。A.B.S. は、ブレーキの効き具合を調整することによってブレーキ機能を管理します。これは、一定の力ではなくブレーキのオンとオフを切り替えることによって行われます。

A.B.S.には6つのサブメニューがあります。[Brake return], [Delay], [Cycle length], [Trigger point], [Duty cycle], そして [Steering mix]です。

サブメニューでは、ブレーキ動作がグラフで表示され、ピークがブレーキオンを示し、そして波形がブレーキングの減少を示します。値が変わると、グラフは現在の設定を表すようになります。

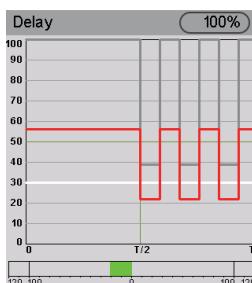
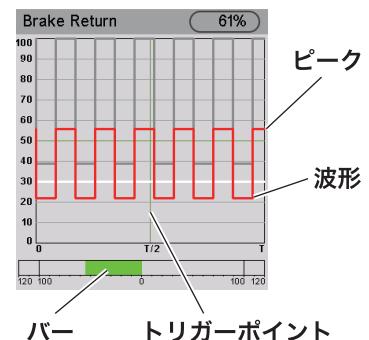
トリガーポイントはグラフ上に白い線で表されます。グラフの下には、リアルタイムブレーキ位置を示すバーがあります。この機能が有効になっていてブレーキがかかっていると、緑色のバーがリアルタイムで振動してA.B.Sの動作を示します。

この機能を有効にするには、アイコンを押します。有効になるとアイコンはに変わります。



### ブレーキリターン

各パルスのブレーキの軽減を制御します。60%に設定した場合、ブレーキが作動しているとき、各パルスは60%のブレーキ強度を下げます。

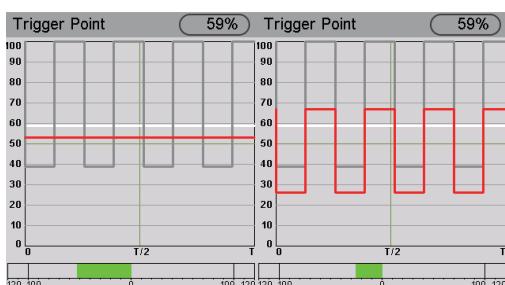


### ディレイ

A.B.S.にかかる時間を定めるシステムです。0%に設定すると、ブレーキがかかるとすぐにA.B.S.が有効になります。値が高いほど、A.B.S.の起動にかかる時間が長くなります。

### サイクル

パルス間の時間を増減します。値が大きいほど、パルスが長くなります。

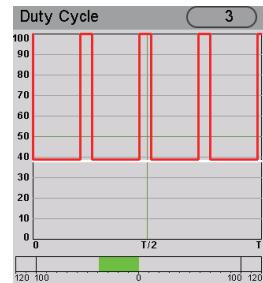


### トリガーポイント

A.B.S.が機能し始めるポイントを設定します。割合が高いほど、A.B.S.を有効にするためにトリガーをさらに動かす必要があります。

## デューティサイクル

各パルスの長さとそれらの間のギャップを変更します。値が変化するにつれて、制動波の長さはピークとトラフの長さが互いに独立して変化し、対称的ではなくなります。



## ステアリングミックス

コーナリングしているとき、A.B.S.を自動的に減らすことができます。この機能はブレーキとステアリングすることを混ぜてA.B.S.を減少し、またはそれを一定のブレーキ圧と交換します。

## 6.11 スロットルスピード



スロットル速度は、ブレーキとスロットルの両方に対して、スロットルの反応速度を変更します。

ブレーキとスロットルには2つの設定があります。

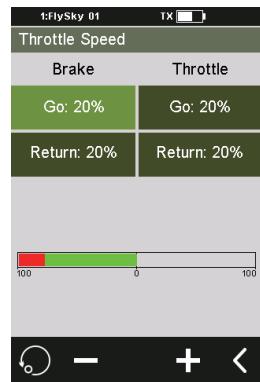
\*Go : スロットルがどれくらい早く加速するかを設定します。

\*Return : スロットルがどれくらい速く後退するかを設定します。

パーセンテージが低いほど、スロットルがトリガーの動きに追いつくまでの時間が長くなります。画面中央のバーにはスロットルの現在位置がリアルタイムで表示されます。赤いバーはトリガーの現在位置です。緑色のバーはチャンネルの現在位置です。

セットアップ：

1. [Go]又は[Return]を選択する。
2. +と - のアイコンを使って割合を増減します。
3. 他の設定で必要に応じて調整します。
4. 走行させる前に必ず動作確認してください。



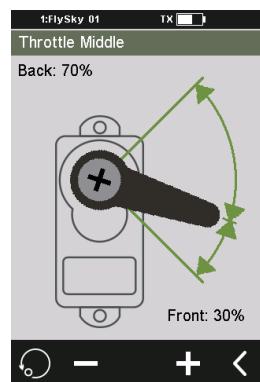
## 6.12 中間スロットル



この機能はスロットルのミッドポイントを変更し、サーボ位置を修正します。サーボ位置がずれていると、電源が入るとモデルがすぐに動く可能性があります。

セットアップ：

1. +と - のアイコンを使って中間スロットル位置を変更します。
2. 走行させる前に必ず動作確認してください。



## 6.13 スロットルアイドルアップ

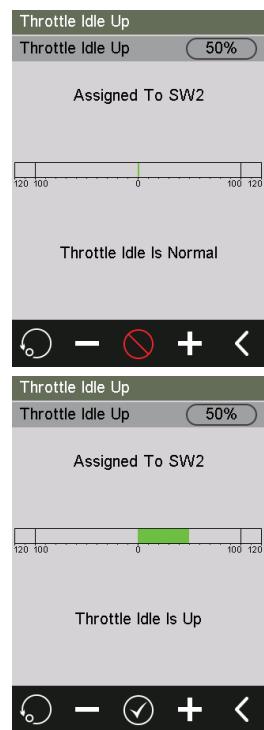


エンジンモデルではエンジン始動時にスロットルが0のままになっているとエンジンスタートしにくい場合があります。スロットルアイドルアップは、エンジンスタートしやすいようにスロットルを開けた状態に固定します。

この機能を有効にするには、スイッチ/ボタンに割り当てる必要があります。([Buttons Assign]を参照) そうしないと、機能は有効にできません。

セットアップ：

1. スロットルアイドルアップ機能をボタンに割り当てる。詳しくは、このユーザーマニュアルの[Buttons Assign]セクションを参照してください。ボタンを押すと、スロットルアイドルアップのオンとオフが切り替わります。
2. +と - のアイコンを使って割合を増減します。
3. 走行させる前に必ず動作確認をしてください。



## 6.14 エンジンカット

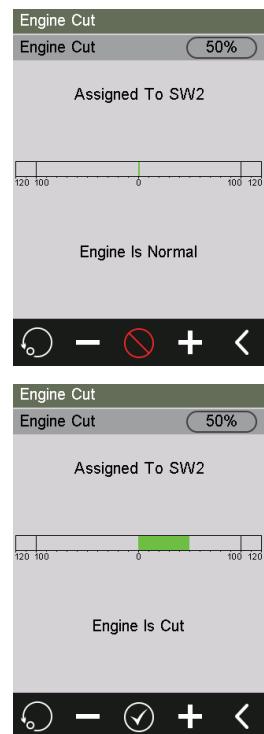


エンジンカットがボタンで作動すると、スロットルが指定の位置に設定することができます。

この機能を有効にするには、スイッチ/ボタンに割り当てる必要があります。([Buttons Assign]を参照) そうしないと、機能は有効にできません。

セットアップ：

1. エンジンカット機能をボタンに割り当てる。詳しくは、このユーザーマニュアルの[Buttons Assign]セクションを参照してください。ボタンを押すと、エンジンカットのオンとオフが切り替わります。
2. +と - のアイコンを使って割合を増減します。
3. 走行させる前に必ず動作確認をしてください。

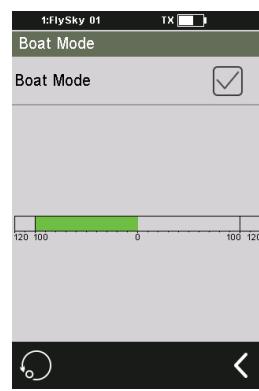


## 6.15 ポートモード



この機能は、RCポートに使用する場合にのみ使用されます。この機能が有効になっていると、スロットルチャンネルは最低位置に設定され、ブレーキ機能は無効になります。

この機能を切り替えるには、[Normal mode]の横のボックスを選択します。  
機能が有効な場合、ボックスの横のテキストが[Boat mode]に変わります。



## 6.16 ブレーキミキシング

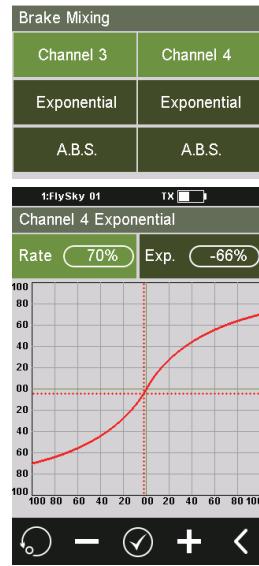


この機能は複数のブレーキチャネルを必要とするモデルに使用します。  
たとえば前後に別々のブレーキがあるモデルを使用できます。

モデルがブレーキ用に追加のチャンネルを使用している場合は、各チャンネルを個別に設定し、スロットルチャンネルによって動作します。

セットアップ：

1. チャンネル3または4をタッチして、そのチャンネルオプションを表示します。
2. エクスパンシャルをタッチして、エクスパンシャルの設定に入ってください。
3. Rateをタッチして+と-のアイコンを使って変更します。Expも同様に行ってください。
4. [K]アイコンをタッチして、ブレーキミキシングのメインメニューに戻ります。
5. A.B.S.をタッチしてサブメニューに入ります。
6. A.B.S.の設定方法についての詳細は、ユーザーマニュアルの[A.B.S.]セクションを参照してください。
7. Display Servos機能を使用して、すべてが期待通りに動作していることを確認します。



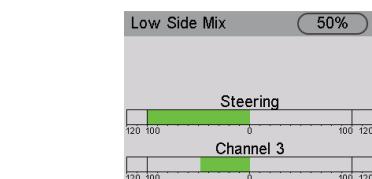
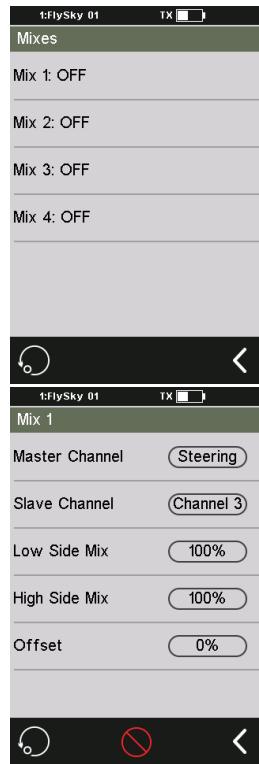
## 6.17 ミックス



Mixesはチャンネルのミキシングを設定するために使用されます。

セットアップ：

1. ミックスをタッチして選択します。
2. [X]アイコンをタッチして機能を有効にします。有効になると、アイコンは [✓] に変わります。
3. "Master Channel" をタッチして、リストからマスター チャンネルを選択します。
4. "Slave Channel" をタッチして、リストからスレーブ チャンネルを選択します。
5. 必要に応じて[Low side mix]または[High side mix]を選択してください。+と-のアイコンを使ってミックスの割合を変更します。終了したら [K] アイコンを押してミックスメニューに戻ります。
6. 必要に応じて他のミックスについても5番を繰り返します。
7. オフセットをタッチし、次に+と-のアイコンを使用して、マスターに関連するスレーブ チャンネルのオフセットを変更します。



## 6.18 サーボの表示

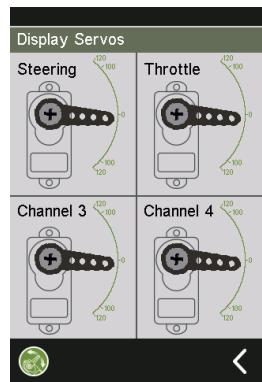


この機能はモデルのチャンネルを表示し、出力とサーボ移動範囲のテストに使用できます。

アイコンを押すと、サーボテストモードがスタートします。このモードでは、すべてのチャンネルがその可動範囲全体にわたってゆっくりと移動します。アイコンを押すとサーボテストモードがオフになります。

警告：

テスト機能が有効になっている間、モデルのエンジンがOFFになっていることを確認してください。



## 6.19 レースタイマー



モード：

\*アップタイマー：カウントアップ。

\*ダウンタイマー：設定時間からカウントダウン。+と-のアイコンを使ってカウントダウンする時間を設定します。

\*ラップタイマー：各ラップのトラックタイムを保持します。

\*ラップメモリー：ラップタイマーの結果を記録します。

Race Timers
Lap 1: 0m20s4
Lap 2: 0m03s8
Lap

※メモリーをリセットする場合は、電源を切る必要があります。



セットアップ：

"Start" をタッチしてタイマーを開始し、"Stop" をタッチして停止します。

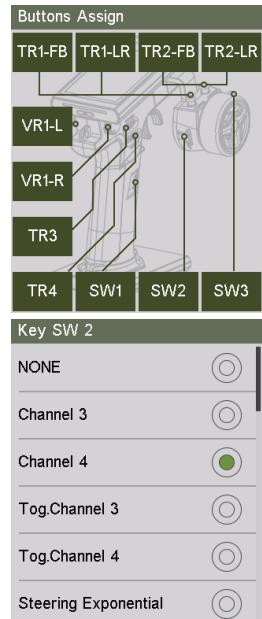
## 6.20 ボタンの割り当て



効率よくする為に、この機能はシステムの物理的なボタンを異なる機能に割り当てています。

セットアップ：

1. 図からスイッチ、ボタン、ホイール、またはトリムをタッチします。
2. リストから機能を選択します。



## 6.21 モデルメモリー



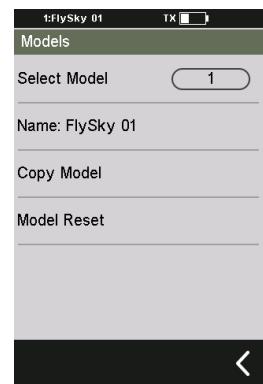
この機能はモデル設定の変更、リセット、名前変更、またはコピーに使います。  
NB4は最大20種類までのモデルを内部メモリに保存できます。

モデルの選択：モデルを選択するには、"Select Model" をタッチして、リストからモデルをタッチします。

モデルの命名：モデルの名前を変更するには、"Name :"をタッチします。  
その後、スクリーンキーボードを使って新しい名前を入力します。  
終了したら K アイコンを押して保存に戻り、前のメニューに戻ります。

モデルをコピーする："Copy Model"をタッチします。次にリストからコピーするモデルをタッチします。次にリストから目的のスロットを選択すると、そのスロット内のすべてが上書きされます。  
システムは正しいかどうかを尋ねてきますので、正しければyesを選択してください。

モデルのリセット：モデルをリセットするには、"Model" リセットをタッチします。リストからリセットしたいモデルを選択します。システムは正しいかどうかを尋ねてきますので、正しければyesを選択してください。



## 6.22 センサー



センサーの表示：現在アクティブなセンサーからの情報を表示します。[Type]の下の左側にセンサーの種類が表示され、[ID]の下に各センサーのID番号が、[Value]の下にセンサーの出力が右側に表示されます。

センサーの選択：メイン画面には最大4つのセンサーの値を表示します。この機能はどのセンサーを表示するかを選択するために使用されます。

注：センサーが追加されていない場合、システムはデフォルトでTX / RX電圧と信号強度を表示します。

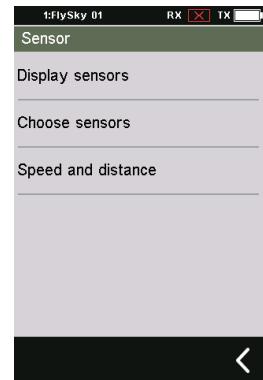
速度と距離：この機能はモデルのRPM（1分あたりの回転数）とそれがどれだけ移動したかを監視するために使用されます。

このメニューでは以下のパラメータの設定ができます。

- ・[スピードセンサー]：希望のセンサーを選択します。センサーが接続されている場合は、メニューに表示されます。
- ・[回転計のセンサー同士の距離を設定]：スピードセンサーをホイールなどに取り付けるときは、センサー同士がどれだけ離れているかを正確に認識していることが重要です。  
システムはこの距離を使用して距離を計算します。

・走行距離計1をリセット：走行距離計1を0にリセットします。

・走行距離計2をリセット：走行距離計2を0にリセットします。走行距離計2は走行した合計距離を記録します。



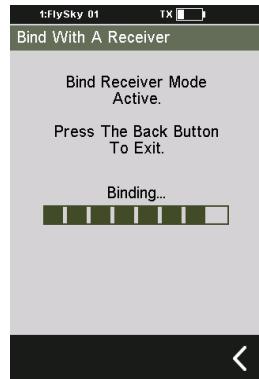
## 7. 受信機の設定



### 7.1 受信機のバインディング方法

受信機とバインディングするには：

1. 受信機をバインドモードにします（バインドモードにする方法については、11ページを確認してください）。
2. 受信機の設定メニューの "Bind With A Receiver" をタッチします。  
NB4は受信機とバインディングし、バインディングが完了すると自動的に終了します。



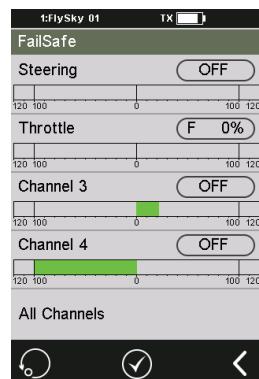
### 7.2 フェイルセーフ

この機能は、送信機の電波を受信機が信号を失って制御できなくなった場合にモデルやユーザーを保護するために使用されます。

セットアップ：

1. チャンネル名の右側にあるボックスをタッチしてチャンネルを選択します。  
選択するとボックスは緑色でハイライトされます。
2. チャンネルを希望する位置に移動し、その位置で < イコンを押します。

すべてのチャンネルを同時に設定するには、"All Channels" をタッチし、すべてのチャンネルを移動して希望の位置に保持してから、< イコンを押して保存します。



### 7.3 レンジテスト

この機能は送信機と受信機の範囲をテストするために使用します。

### 7.4 アウトプットモード

この機能は出力方法とシリアルの種類を設定します。

### 7.5 i-Bus設定

この機能はi-Busに接続されたサーボにチャンネルを割り当てるために使用します。

### 7.6 受信機バッテリーモニター

この機能は受信機の電池電圧を監視するために使用されます。外部センサーの追加や低い電圧と高い電圧を設定できます。また、低電圧アラームの設定もできます。

### 7.7 低信号時のアラーム設定

チェックを入れると、受信機の信号強度が5以下になると、警告音が鳴ります。

### 7.8 サーボ周波数設定

この機能は周波数を上げるとサーボの動きが早くなります。ただし、サーボの仕様によっては周波数を上げすぎると壊れる可能性があるので、サーボの仕様書を確認してお使いください。

### 7.9 受信機のアップデート

この機能は受信機のファームウェアを更新するために使用されます。

## 8. システム



### 8.1 画面表示の時間設定

画面表示の時間設定機能は、画面のバックライトをオフにするまでの時間を制御します。

セットアップ：

1. リストから時間を選択してください。

Backlight Timeout	
5 Seconds	<input type="radio"/>
10 Seconds	<input type="radio"/>
30 Seconds	<input checked="" type="radio"/>
1 Minute	<input type="radio"/>
2 Minute	<input type="radio"/>
5 Minute	<input type="radio"/>

### 8.2 画面の明るさ調整

この機能はバックライトの明るさを制御します。

セットアップ：

1. +と - のアイコンを使ってバックライトの割合を変更します。
2. アイコンをタッチして保存し、前のメニューに戻ります。

Backlight	
Backlight	50%

### 8.3 音量設定

この機能は、電源オン/電源オフ音、キーサウンドなどを含むすべてのシステム音を切り替えるために使用します。

音量：音量をタッチして、リストから希望の音量を選択します。

アイコンをタッチすると前のメニューに戻ります。

Volume	Four
System Sound	<input type="checkbox"/>
Alarm Sound	<input type="checkbox"/>

システムサウンド："System sound" の右側にあるボックスをタッチしてシステムサウンドを切り替えます。ボックスがチェックになっていれば有効になっています。

アラームサウンド：アラームと警報をオフにするには、"Alarm sound" の右側にあるボックスをタッチします。ボックスがチェックになっていれば有効になっています。

### 8.4 バイブレーション設定

バイブレーション設定は、システムでさまざまなバイブレーション設定機能を設定します。

バイブレーション設定レベル："Vibrate Level" をタッチして、リストから希望の強度を選択します。  
 アイコンをタッチすると前のメニューに戻ります。

システムサウンド："System sound" の右側にあるボックスをタッチしてシステムサウンドを切り替えます。ボックスがチェックになっていれば有効になっています。

アラーム音：アラームと警報をオフにするには、"Alarm sound" の右側にあるボックスをタッチします。ボックスがチェックになっていれば有効になっています。

Vibrate Level	Weak
System Vibrate	<input type="checkbox"/>
Alarm Vibrate	<input type="checkbox"/>

## 8.5 LEDライトの色変更

LEDライトの色変更は、電源ボタンの上にあるLEDストリップの色を変えます。

色を変える：

1. LEDライトをタッチしてメニューに入ります。
2. リストから色を選択してください。
3.  アイコンをタッチすると前のメニューに戻ります。



## 8.6 言語

ユーザーインターフェイスの言語を変更します。

言語を変える：

1. "Language" をタッチしてメニューに入ります。
2. リストから言語を選択してください。
3.  アイコンをタッチすると前のメニューに戻ります。



## 8.7 オートパワーオフ機能

受信機が接続していない、ユーザーが2分間何もしなかった場合、オートパワーオフ機能は送信機をオフにします。

オートパワーオフ機能を切り替えるには、セッティングの右側にあるボックスをタッチします。  
ボックスにチェックが入っている場合、機能は有効です。



## 8.8 無線周波数の設定

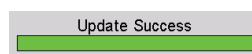
無線周波数の設定には、送信機と受信機のRFプロトコル設定が含まれています。

RFプロトコルの変更：

1. "RF Std.:" をタッチして、リストからプロトコルを選択します。
  - AFHDS3 1 Way
  - AFHDS3 2 Way (テレメトリー通信適用)
2.  アイコンをタッチして前のメニューに戻ります。

RFの更新：

RFの更新は内部RFモジュールを更新します。更新はNB4のファームウェアアップデートに含まれます。  
"Update RF"をタッチすると更新され、プログレスバーが表示され、数秒後に更新が完了します。



## 8.9 キャリブレーション

キャリブレーションは、中心と外側の位置が正しくなるようにトリガーとホイールを調整します。  
緑色のバーはチャンネルの現在位置で、キャリブレーション範囲は背景のように灰色になります。

キャリブレーション：

1. それぞれの方向に動くことができる限りホイールとトリガーを動かします。
2.  アイコンをタッチして保存し、前のメニューに戻ります。



## 8.10 ファームウェアアップデート

送信機の内部ソフトウェアは、ワンドウズコンピュータを介して接続されたUSBインターフェースを使用して更新することができます。この機能が有効になると、送信機のすべての機能が停止します。このモードに入る前に、車両の制御が失われるのを防ぐために、受信機の電源を切ってください。

ファームウェアの更新中は、絶対にUSBケーブルを外したり、送信機からバッテリーを取り外したりしないでください。

1. 最新の公式ファームウェアをダウンロードして開く。
2. 送信機とコンピューターをUSBケーブルで接続します。
3. "Firmware Update" をタッチし、"Yes" をタッチします。

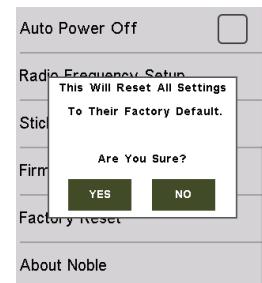
※京商HPの「<http://www.kyosho.com/jpn/support/instructionmanual/flysky/index.html>」より  
ファームウェアをダウンロードしてください。

## 8.11 ファクトリーリセット

ファクトリーリセットは、すべての送信機の設定と機能を工場出荷時のデフォルト状態にリセットします。

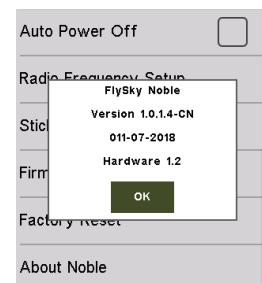
リセット：

"Factory Reset" をタッチし、表示されたら"YES" を押します。



## 8.12 ファームウェアのバージョン確認

製品名、ファームウェアバージョン、アクティベーション日、ハードウェアバージョンなどの基本情報が含まれています。



## 9. 製品仕様

### 9.1 送信機 (NB4)

モデルタイプ	カー、ポート
チャンネル	4ch
RF 周波数範囲	2.402-2.481GHz
RF 周波数パワー	<20dBm (EU)
2.4GHzプロトコル	AFHDS 3
モジュレーション方式	Lora
データ出力	マイクロUSB
充電ポート	マイクロUSB
アンテナの種類	内蔵シングルアンテナ
脱着式バッテリー	3.8V 4300mAh Li-poバッテリー (PSE規制対象外)
画面	320 x 480の解像度のHVGA 3.5インチTFTカラースクリーン LCDホワイトバックライト、静電容量式タッチスクリーン
オンライン更新	有
範囲 (地面干渉なし)	> 300m
寸法	W114×L129×H190mm
重量	520g
認証	CE, FCC ID:N4ZFG400
送信機内蔵バッテリー	3.6V 2550mAh Li-ionバッテリー

### 9.2 受信機 (FGr4)

チャンネル	4ch
RF 周波数範囲	2.408-2.475 GHz
RF チャンネル	135
RX 受信機感度	-95dBm
2.4GHzシステム	AFHDS 3
RF 周波数パワー	<20dBm (for Europe) (ヨーロッパ用)
モジュレーション方式	GFSK
データ入力	3.5 - 8.4 V / DC
重量	15g
寸法	W28×L45×H22mm
認証	CE, FCC ID:N4ZFGRS400

### 9.3 受信機 (FGr4S)

チャンネル	4ch
RF 周波数範囲	2.402-2.480 GHz
2.4GHzシステム	AFHDS 3
データ入力	3.5 - 8.4 V / DC
重量	6g
寸法	W23×L18×H26mm
認証	CE, FCC ID:N4ZFGRS400

# 京商スペアパーツ・オプションパーツの購入方法



※これらの購入方法は日本国内に限らせていただきます

- 部品をこわしたり、なくしてしまった場合でもスペアパーツやオプションパーツを購入し、元どおりに直す事ができます。
- パーツはお店で直接購入していただくか、お店に行けない場合は、京商オンラインショップで購入することができます。
- 商品のご購入に際しては商品代金(税込)とは別に発送手数料が必要です。

※お支払い方法により発送手数料が異なりますので下記の注文専用電話にてご確認ください。

※お届け予定日数は夏・冬期休業または交通事情等運送上の理由により、遅れる場合がございますのであらかじめご了承ください。

## 1.まずはお店でお求めください。

まずは、お近くのお店か、この商品をお買い求めいただいたお店にご来店ください。ご希望のパーツの在庫があれば即購入できます。その際に組立/取扱説明書をお持ちになると購入がスムーズになります。



### お店で在庫切れの場合でも京商の『オンラインパーツ直送便』<sup>※</sup> でお店から京商へ申し込みます

お店でご希望のパーツがたまたま品切れだった場合でも、京商の『オンラインパーツ直送便』<sup>※</sup>を利用すればその場で注文できます。『オンラインパーツ直送便』は、ご希望のパーツの品番や数量等を直接お店にご注文してください。在庫確認後代金をお支払いいただければ結構です。お客様のご自宅か、お店にお届けします。

※一部取扱っていないお店もございます。



オンライン  
パーツ直送便  
取扱店はこの  
ステッカーが  
目印です。

A: 取扱説明書で必要な  
パーツの品番と数量を  
確認する。



B: お店で必要なパーツを  
注文し代金を支払う。



C: ご注文から約3~4日で  
お客様のご自宅か、お店に  
お届けします。



## 2.お店に行けない場合は 次の方法で京商から通信販売で購入できます。

お店に行けない場合は、京商ホームページからお申し込みください。

### インターネットで京商に申し込む

<http://rc.kyosho.com>

インターネットでお申し込みの場合は2種類(各社クレジットカード、  
代引支払い)からお選びいただけますのでご利用ください。



京商株式会社

〒243-0021 神奈川県厚木市岡田3050 厚木アクトメインタワー7F

●お問い合わせはユーザー相談室まで

電話 046-229-4115 受付時間：月～金曜(祝祭日を除く)13:00～18:00

# 組立や、操作上で不明な点のお問い合わせ方法

これらのサービスは日本国内に限らせて頂きます



組立てたり、操作してみて上手くいかない点などございましたら、ご購入いただいた販売店または、京商ユーザー相談室へお問い合わせください。

京商ユーザー相談室へお問い合わせの際は、お電話いただくな、下記のお問い合わせ用紙に必要事項をご記入のうえ、ファックスまたは郵便でお送りください。

## 京商へのお問い合わせ先 → 「京商ユーザー相談室」

京商にお問い合わせの際は、「京商ユーザー相談室」にご連絡ください。

お問い合わせの際は、お手元に商品や組立／取扱説明書をご用意のうえ、組立／取扱説明書のページ数、行程番号、部品番号(キーNo.)を用いるなど、なるべく具体的にお知らせください。

電話でのお問い合わせは：046-229-4115 電話でのお問い合わせは、月曜～金曜(祝祭日を除く)13:00～18:00。

FAXでのお問い合わせは：046-229-4032 FAXでは、24時間お問い合わせの受付をして居ります。回答は、翌営業日以降となる場合があります。営業日:月曜～金曜(祝祭日を除く)

郵便でのお問い合わせは：〒243-0021 神奈川県 厚木市 岡田3050 厚木アクトメントタワー7F  
京商株式会社 ユーザー相談室宛

キリトリ線

## お問い合わせ用紙

お問い合わせ用紙は、FAXまたは郵便でお送りください。回答方法は、京商で検討のうえ考慮させて頂きます。

郵送の場合は、お問い合わせ用紙のコピーを保管してください。

品番	No.82151	商品名	FLY SKY NB4 Noble TX/RX		
ご購入店	店名 (電話	都道府県 - - - )	ご購入年月日	年 月 日	
ご使用プロポ	メーカー名 商品名	ご使用のモーター エンジン			
ご氏名	フリガナ	R/C歴	約 年		
ご自宅住所	〒 - - - - 都道府県				
ご自宅の連絡先	電話 ( )	FAX ( )			
平日の昼間に可能な連絡先	電話 ( )	FAX ( )			
月曜～金曜(祝祭日を除く)13:00～18:00で電話連絡可能な時間帯			頃	受付No.(京商記入欄)	

**お問い合わせご記入欄**:組立／取扱説明書のページ数や部品番号(キーNo.)を用いるなど、なるべく具体的にご記入ください。

※京商株式会社では、お客様の個人情報の保護に力を入れております。お客様よりの、注文及びお問い合わせを通じて知りえたお客様の個人情報につきましては、(1)～(3)の場合を除き無断で第三者に提供したり開示するようなことはありません。(1)お客様の事前の承諾を受けた場合。(2)法律に基づき開示請求を受けた場合。(3)サービスの提供のため当社の委託先に開示する場合。